



**産後ケア宿泊型サービス「アイルーム」**  
(武蔵野市事業)

出産後の「ごころからたの休息」と「リフレッシュ」を目指しています

母子1組 1泊2日 70,000円～  
母子1組 1泊2日 10,000円～

武蔵野市民の方で、産後ケア事業の対象になる方には助成があります。  
事前に武蔵野市に産後ケア申請を行い、「利用希望書」の交付を受けご予約ください。  
詳しくは武蔵野市健康課 (0422-51-0700) にお問合せください。  
詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのwebサイトをご覧ください。

**地域周産期母子医療センター**

- ・産科病棟
- ・NICU (新生児集中治療室)

当院では、急変等に対応できるように「産科医、新生児科医、救命医、麻酔医、助産師」が24時間常駐しております。

当院では、陣痛の痛みを和らげる方法の一つとして**無痛分娩**を行っております。

詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのWebサイトをご覧ください。

分娩：60万円～  
無痛分娩：72万円～

<https://www.musashino.jrc.or.jp> 〒180-8610 武蔵野市境南町 1-26-1 ☎ **0422-32-3111**

**健診センターからのお知らせ**

「土曜日」開設の人間ドックご案内

- 平日は忙しくて！という方向け

平日は忙しくて健診を受けられない方(65歳以下)を対象に、土曜日の人間ドックを開設しました。



一申し込み方法ー

電話予約または直接健診センターへの来院予約

月曜日～土曜日 午前9時～午後4時  
(但し年末年始 12/29～1/3及び5/1は除く)

電話番号 0422-30-5638 (直通)  
または 0422-32-3111 (代)



「平日」開設の認知症ドックご案内

- 頭の健康を意識する方向け

体の健康だけでなく、頭の健康を意識する方向けに、認知症に重点を置いた認知症ドックを平日に開設しました。



健康管理の一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。  
お待ち申し上げます。  
★詳しくは病院ホームページの「人間ドックのご案内」で紹介しています。



**Eye むさしの**

頼れる病院をめざします



**基本理念**

- 病人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

**基本方針**

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります



## Web会議ツールを活用した「オンライン同行訪問」のご紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 小松唯

2025年超高齢者社会を目前としている現在、高齢者を地域で支える「地域包括ケアシステム」の構築が重要視されています。当院では地域の急性期医療を担う役割の一環として、2016年より当院の看護師と訪問看護師が退院した患者様のご自宅に伺い看護ケアを行う「同行訪問」を実施していました。しかし新型コロナウイルスの蔓延により、感染リスクの観点から患者様宅に伺う事が困難となりました。この状況下でも同行訪問が実施できないものかと思案し、2022年4月より「オンライン同行訪問」を始めることといたしました。「オンライン同行訪問」は、訪問看護師と当院の病棟看護師または専門の看護師がWeb会議ツール（Zoom）を通じて、看護ケアを実施する当院独自の試みです。

痛みや苦痛を和らげる緩和ケアや褥瘡（床ずれ）ケア、ストーマケア、在宅酸素療法、化学療法との付き合い方、乳がんの手術を受けた後のケアなど、様々な病気に対する看護ケアについて対応しています。実際にオンライン同行訪問を行った患者様やご家族の方から

「自分の病気の管理方法について正しいかどうか再確認でき安心した」という声をいただきました。またZoomを通じて看護ケアをともに行った訪問看護師からは「専門の看護師と一緒に看護ケアを行うことが学びとなる」という評価をいただいています。

地域の看護の発展のため貢献できることを使命として、このシステムを立ち上げました。

ご活用を希望される場合は、病棟看護師や医療連携センターまたはご利用の訪問看護ステーションにご相談ください。



**Web会議ツール  
(Zoom)を通じて、身振り手振りで  
看護介入をする筆者**

## ～女性事務制服が変わりました～

施設課係長 野村 由起子

令和4年4月より女性事務制服が変わりました。ベストがブルーと白のチェックで、爽やかな印象です。こちらは既製品ではなく、当院のみで着用するオリジナルデザインです。

変更の理由としては、契約更新期間が満了したのですが、担当者としては「是非この機会に新しいデザインにしたい!」と考えました。8年間同じデザインの制服を着用しており、マンネリ化しています。またコロナ禍でもあり、明るい雰囲気 of 制服を着用したほうが患者様に与える印象としてよいのではと考えました。

ユニフォーム会社には、何着か提案をお願いし、その中から決定することとしました。提案された制服の中には、生地が非常に上品な物もありましたが、離れて見ると黒い服にしか見えません。なかなか思うような制服には出会えず、試着品の作り直しをお願いしました。

その結果、現在着用している制服に決まりましたが、縫製工場のアジアの地域がコロナでロックダウンしたと聞き、「4月に届くのか」と心配しましたが、3月初めには日本に届き、無事職員に配布することが出来ました。

今回から制服業者も変わり、制服の発注もWEB申し込みになりました。新規業者とのシステム構築も手間の掛かることでしたが、変えないと変わらないの思いから、アナログシステムから脱却することとしました。

制服を着用することについては色々な意味がありますが、事務職員のモチベーションUPに繋がれば、患者様に還元できるのではないかと期待しています。

